

我等「おせっかい」が館山市広報に参上

館山市の広報誌「だん暖たてやま」に我々おせっかいの活動が取り上げられました。取材当日朝はあいにくの雪、館山にしては珍しい雪景色に宝くじにでも当たったかのようなうれしさで撮影場所である安西農園 安西さんの農場へ…



ス「菜花をみんなで試食して色々な意見交換をし無事撮影は終了しました。

当初は、2月1日号の広報誌の表紙を飾る予定でしたが、地元安房高校の春の選抜甲子園21世紀枠での出場が決定しおめでとつございませす、1日号の表紙は当然安房高野球部に譲りました。我々は2月15日号の表紙を飾りました。少しでも市民の皆様が我々の活動を知っていただけるいい機会に恵まれてよかったです！

移住者インタビュー

海の近くに住みたい

今回は、茨城県の藤代から館山市神余に移住を成功させた、大石様のお話をお聞きしました。

「老後は海の近くに住みたいね」と思っていた大石夫妻、そんな時、ご主人のご両親が「海の近くに住みたいって言ってたよね？なら私達も一緒に移住しようかしら」の一言から夫妻の移住計画がスタートします。時は2004年のお正月、まずは移住候補地、「海の近くなら館山だよねー海はキレイだし、釣りもできるし、冬も暖かいしね」と、以前よりキャンピングカーでよく館山に来ていたこともあり、すんなりと館山に決まったそうです。伊豆も候補にあがったのですが、「土地が高い、地震が多い、交通渋滞が激しい」との点でやめた、といういきさつもお聞きしました。まずは「両親を連れ館山を見…その下見が移住する上で重要なことを気づかせてくれたそうです。それはと言うと「スバリ「風」です。その日は非常に強い風(大西と呼ばれる西風)が吹いていたそうで、当初は海の近くに住まいを建てる予定でしたが、この風を知ったことで「海が見えなくても海まで近ければいいか…」と思うようになったそうです。この両親も館山を気に入っていただき早速土地を



地元の不動産屋さんで購入、移住へのプランがスタートします。しかし、「両親が色々考えるうちに不安がいつぱいになり、館山にはいけないと言



うことになり、当初の2世帯移住計画から、大石さん夫妻だけの移住計画になったそうです。その後、何回か館山

に足を運び、雨の日の土地の状態や、土地の周りの環境などをチェックし、「ご主人の体調不良も重なり移住を早めることになり、2005年8月に念願のログハウスが完成、館山への移住という夢を叶えました。その後、2007年3月に「ご両親も館山に移住され、現在は敷地内に建てた離れで毎日楽しく過ごしているそうです。ここで、今回大石夫妻に館山への移住で、どのような点を重視したかをお答えいただきました。

Q 館山の情報収集の手段は？
趣味のキャンプ等でたびたび訪れていたの自身の目で見て、気候、生活環境、病院などの主な位置などの情報を収集しました。

Q どうやって土地を探しましたか？
インターネットで館山の不動産屋を検索しました。地元ならではの豊富な知識とアドバイス、また早い対応に大変満足でした。

Q もっとも気がかりだったことは？
病院です。主人の体調のこともあり、医療体制がどうなのかが気がかりでしたが、実際に移住してみて病院もしっかりしていますし、いざという時は、近隣に亀田病院があるという安心感があります。

Q ご近所との交流は？
家の周りのほとんどが移住してきた方ばかりですから、色々な話もできますし、仕事で出会っ



た人たちとも楽しくやっていきます。
Q 期待以上だったこと、以下だったことはありますか？
まず、期待以上だったことは、空気がおいしく海や山の自然が素晴らしいのに、市街地には大型店舗もあり買い物にも困らない、なんていっても星空が最高にキレイです！
高速道路が繋がったこともあり、ちょっと都心へも気軽に行けますし、友達も良く遊びに来られます。

期待以下だったことは、まず映画館がないこと、それと駅前が少し寂しいのが気になりましたね。
Q 館山へ移住をお考えの方にアドバイスを
そうですね、「まず海辺に家を」とお考えの方は、気をつけて選ぶことですね。冬場は比較的強風の日が多いので、風の強い日に下見をされて一度強風を体験されることをオススメします。後は塩害にも対策が必要かもしれません。

今回お話しをお伺いしました大石様は、ご主人様はパソコンスクールを経営されており、奥様は、里見の湯内でマッサージのお仕事をされています。お休みの日には、かわいい3匹のシーズー犬とともに海や山に遊びに行くそうです。奥様が、館山への移住計画をブログにしたHPがありますので、皆様ぜひともご覧下さい。
<http://www.geocities.jp/posyukei/>にアクセス
または移住ドットコムからのリンク集から…

別荘を建てたH様の 館山移住コラム

私は 千葉県松戸市に現在住んでいる55歳のサラリーマンです。
50歳を過ぎた頃からテレビ等の影響でしようか、定年を迎えてからの生活をぼんやり考えるようになりました。初め頃はサラリーマンの定年60歳を過ぎたら現在すんでいる住宅街から脱出し、田舎でのんびりカミサンと生活したいなあーと思っただけでした。

「なぜ館山なの？」

永住を予定する場所を探す第一条件は現在住んでいる自宅から「ドアtoドア」で2時間以内。東京からも2時間以内。そして通年を通して暖かいところ。これが私の第一条件であり大前提になりました。館山はこの条件にピッタリです。現在、館山市船形というところに家を持たせていただいておりますが、自宅から「ドアtoドア」で約1時間30分。仕事を終えた金曜日の夜、7時に自宅を出れば8時半には館山の家に着いています。一杯呑んで風呂に入り熟睡。翌土曜日と日曜日を十分に活用しすっきり堪能。リフレッシュ。この近きホントありがたい。

この近さがあつての充実感ですね。寒くないところ！という命題には必ずしも合致している場所が館山とは思いません。館山もしつかり寒いですが。昼間は何かなつても夜はしつかり寒いです。更に風でも吹いた日は、昼間でも寒いんですよ。しかし、このようにしつかり寒い日は1年を通して1ヶ月もないのではないのでしょうか。先日1月27日、この日も昼間、外のデッキでカミサンとビールを飲みながら昼食をとりました。その日は風も収まり太陽が顔を出したので、上着を脱いでTシャツでビールを飲

まない、じんわり汗が滲む程でした。館山は東京に程よく近く、冬も短期間&この程度の寒さなので私としては合格点をつけております。
次号、「館山のどこ？家は誰に造つてもらったの？」をお届けいたします。

館山市役所主催 おせっ会全面協力！ 館山暮らし体験ツアー開催

去る2月7日、館山へ移住を考えているお客様に「ありのままの館山を知ってもらおう！」と館山暮らし体験ツアーを実施いたしました。ツアー参加者15名、HPのブログでお馴染みの「たてやま海辺の鑑定団」代表のうみがめさんや、青年部OBの石橋さん、安西農園の安西代表、先輩移住者の浅野さん、富崎小学校校長先生をはじめ生徒みなさん方、多数の市民の皆様のご協力を頂き、無事成功に終わることができました。

当日は朝から寒い北風の中、金丸館山市長の歓迎の挨拶後、館山駅前を9時半に出発、午前中は坂田海岸、布良海岸にてうみがめさんガイドによる「ビーチコミュニティ」を行いました。同じ館山なのに、東京湾



に面した坂田、太平洋に面した布良、二つの海岸の違いを実際に歩いて、砂の違う流れの違いでまったく



違う海岸なんだ！と実感されたことと思えます。その後は、過疎が進む布良地区の富崎小学校にお邪魔し、生徒さんたちの歌



「安房節」が披露され、漁師まちの元氣な子供の声に参加者の心に届けられたことと思えます。昼食は、朝から我々おせっ会メンバーが準備を進めてきた「地元食材を使ったバーベキュー昼食」をご用意。その日に獲れた新鮮なキンメやヒラメの刺身や、地元のお肉、取れたてレタスや、自家製のアジの干物など、とても食べきれないくらい食材を堪能していただきながら、先輩移住者浅野さんの移住体験談を聞いていただき、デイスカッション、存分に「食のまち館山」を知っていただきました。その後、安西農園での菜花の摘み取り体験で生の菜花をほおばり、サンポーファームでレタスの収穫体験を行い、館山を一望できる城山公園の山頂から、



「温暖な館山へぜひ移住をお考え下さい！」を合言葉に、当日はおせっ会メンバーが、館山の良さを精一杯PRさせていただきました。その場で移住に関する相談も承ります。日にちは正式に決まり次第、HPにて告知いたします。お楽しみに



きれいな館山市を眺めていただきました。その後は、市内の病院、買い物などの生活エリアをバスから見学し、館山商工会議所にておせっ会メンバーの住宅建



の平野より「館山暮らしのアドバイス」を聞いていただき不動産関係の意見交換会を行いツアー終了となりました。午前中は風の強い館山を、午後はポカポカ陽気の館山をと、1日で両方の館山を体験でき参加者の皆様は移住への参考になったのではないかと思います。これから体験ツアーを企画いたしますので皆様の参加をお待ちしています。

館山へ移住！「おせっ会」 キャラバン隊出発告知！

館山への移住をPRする「おせっ会キャラバン隊」が三月に高速アクアラインのサービスエリア海ほたると、館山の道の駅「南房パラダイス」にて、移住促進キャンペーンを行います。

「温暖な館山へぜひ移住をお考え下さい！」を合言葉に、当日はおせっ会メンバーが、館山の良さを精一杯PRさせていただきます。その場で移住に関する相談も承ります。日にちは正式に決まり次第、HPにて告知いたします。お楽しみに